

令和6年度基山町デジタル田園都市国家構想総合戦略 実績報告書 【抜粋】	
基本目標 ① 基山町への新しい「しごと」の流れをつくる	
■（プロジェクト番号1）トカイナカ産業振興プロジェクト 実績報告書 1 ページ	
④ 地域連携農業促進事業	
佐賀県で開催された「全国農業担い手サミット」に参加された方に対し、町内の米やエミューなどの農畜産物を使った昼食の提供や基山ふるさと名物市場への案内などを行い、基山町の農業の魅力発信を行った。	
⑤ まちなか資源活用事業	
町内企業と連携し、町民が日常で利用するまちなかのスーパーマーケットの駐車場を活用した「きやまの市」を初開催した。	
■（プロジェクト番号2）企業支援プロジェクト 実績報告書 3 ページ	
① 雇用創出事業	
町内外 55 社による合同企業説明会を実施したところ、600 人余りの参加があった。また、実際に事業所を見学し働くイメージをより実感することができる事業所見学会を開催し、飲料製造及び先端設備工場を見学した。	
② 企業支援事業	
新たな事業活動に取り組み、経営の向上を図ることを目的とした中期的な経営計画を立て、事業を実施する事業者等に対して一部経費を補助するなど、町独自の支援を行った。また、先端設備を導入する企業3社に対し税制優遇による支援を行った。加えて、企業誘致の優遇制度として企業立地奨励金を4社に交付した。	
基本目標 ② 基山町への新しい「ひと」の流れをつくる	
■（プロジェクト番号3）交流人口・関係人口増加プロジェクト 実績報告書 5 ページ	
① まちのにぎわい創出施設整備事業	
基山ふるさと名物市場と基山 PA パーク&ライドの相互利用サービスを開始し、相乗的な利用促進を図った。	
■（プロジェクト番号4）まちの集客拠点活用プロジェクト 実績報告書 7 ページ	
② まちの交流拠点整備活用事業	
基山公園広場および山頂エリア休憩所の壁面に解説サインを新たに設置した。	
■（プロジェクト番号5）歴史・観光資源活用プロジェクト 実績報告書 9 ページ	
④ まちの宝「きざん」事業	
オキナグサ保存区域でオキナグサの鑑賞や撮影をしやすいするため、柵の改修を行い管理保全に取り組んだ。	
基本目標 ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえるまちづくり	
■（プロジェクト番号6）婚活応援プロジェクト 実績報告書 11 ページ	
① 婚活応援事業	
婚活イベントでは定員を超える申し込みがあった。また、イベントでは15組のマッチング（第3希望まで）が成立し、多くの結婚を希望する方々のサポートを図ることができた。	
■（プロジェクト番号7）子育て支援プロジェクト 実績報告書 13 ページ	
③ 基山っ子みらい館事業	
ふれあい広場として、まちなか公民館、SGK 交流プラザ及び第8区公民館に出向き、出張型の交流広場を行った。	
⑤ 一体的相談支援事業	
妊産婦、子育て世帯、子どもの誰一人取り残すことのない、母子保健と児童福祉の一体的な相談支援体制を確立するため令和6年4月1日より「こども家庭センター」を設置した。	
■（プロジェクト番号8）住宅環境整備プロジェクト 実績報告書 15 ページ	
① 移住定住支援事業	
「子育て・若者世帯の住宅取得補助金（交付20件：8,800千円）」及び「結婚新生活支援補助金（交付7件：1,847千円）」を実施し、子育て・若者世代の移住・定住の促進を図った。	

基本目標 ④ 安心と安全をベースにオール基山のまちづくり		資料 4
■（プロジェクト番号9）安心安全のまちづくりプロジェクト 実績報告書 17 ページ		
② 暮らしの安心・安全設備等整備事業		
防犯カメラ及び防犯灯については、設置が必要と考えられる場所または地域から要望があった場所へ設置を行った。防犯灯を15基、防犯カメラを1箇所（2台）設置し、犯罪の抑止力を高めた。		
■（プロジェクト番号10）オール基山で考えるみんなの住みたいまちづくりプロジェクト 実績報告書 19 ページ		
① 『オール基山』推進事業		
基山町の最上位計画である総合計画の第6次計画策定のため、パブリックコメントを2回、説明会・意見交換会を2回、審議会を5回開催し、町民が参加する機会を確保し、提出された意見を計画策定に反映した。		
③ 協働の地域環境整備事業		
下水道整備について、未普及対策としてポンプ場及び幹線管の整備を計画的に行った。また、合併浄化槽については、新規設置（転換を含む）及び維持管理に係る補助金を交付した。また、普及啓発活動として、福岡県下水道課等と共同で下水道展を実施し、佐賀県下水道課と共同で水循環フェアを実施した。		
■（プロジェクト番号11）デジタルを活用した魅力的なまちづくりプロジェクト 実績報告書 21 ページ		
② デジタルを活用した行政サービス事業		
イベントの申し込み等をLINEでオンライン申請できるよう整備し、町民の利便性が向上した。		
③ デジタルを活用した見守り事業		
久留米大学が提供する健康統合管理アプリ WBF くるめを活用して、高齢者の健康情報を日々記録し、健診情報等を経年的に取り込むことで、健康意識の向上や早期の介護予防等に繋げた。また、マイナンバーカードを活用したサービスについては、関係機関と連携協定を締結し医師・歯科医師・薬剤師をはじめ専門的な意見を踏まえながらアプリをバージョンアップし、アプリと健康診断情報の紐づけを行った。		
④ デジタル活用支援事業		
さがデジタルサポーター制度を活用し、スマホ相談を実施し、デジタル機器やサービスに不慣れな方をサポートした。		
基本目標 ⑤ 基山力を活かした人材活用と人材育成のまちづくり		
■（プロジェクト番号12）自然と歴史・文化・スポーツ分野での人材活用プロジェクト 実績報告書 23 ページ		
① 文化財・文化遺産再発見事業		
図書館において郷土の歴史を紹介する企画展を6回実施した。		
■（プロジェクト番号13）まちの未来を担う人材育成プロジェクト 実績報告書 25 ページ		
② 図書館アカデミック読書推進事業		
SAGA2024 国スポ総合開会式で基山町に配火された炬火を用いた「SAGA2024 国スポ・全障スポ基山町炬火イベント竹あかりナイト in 図書館」や「クリーニングデイ佐賀」「大人のための映写会」等の事業を開催し、多世代の交流を進めた。		
基本目標 ⑥ 誰もが活躍できるユニバーサルなまちづくり		
■（プロジェクト番号14）みんな元気、健康寿命延伸プロジェクト 実績報告書 27 ページ		
⑤ 糖尿病重症化予防事業		
ふ・れ・あ・いフェスタにおいて、久留米大学とのコラボブースを開設し、糖尿病、CKD（慢性腎臓病）及び認知症に関する健康チェックや、専門医師による健康相談を行った。		
■（プロジェクト番号15）みんなの居場所と役割づくりプロジェクト 実績報告書 29 ページ		
④ 多文化共生推進事業		
町内の企業に呼びかけて、外国人の方にゴミ出しについて学ぶ日本語教室を実施した。また、県職員を講師に迎え、町職員向けに「やさしい日本語教室」を開催した。		